

## 洋服地 と 型紙 で 作る 簡単浴衣

参考作品は 子供用(12才) の 対丈で短め の浴衣です  
一人で着易いように 付紐タイプ に 成っています

### 参考出来上がりサイズ

着丈 130cm 参考身長155cm

ゆき 63cm

胸回り 90cm以内(帯を 締めるので 特に絞っていません)

### 参考材料

洋服地 110cm 幅 3.8m

付紐 1.5cm 幅 1.4m

型紙 75cmX105cm 2枚

( 上記 内容の キットサービス有り)

### 参考材料費

3000円

### 備考

参考作品は 子供用ですが もちろん 大人用も作成可能です  
3サイズの 最大 が 110cm 以内

### 参考材料 大人用 対丈の場合

洋服地 110cm 幅 (身長-20cm)X2+110cm

身長160cmの方なら (160-20)X2+110=390cm 以上

付紐 1.5cm 幅 1.4m

型紙 75cmX105cm 2枚

### 参考材料 大人用 おはしよりの ある 場合

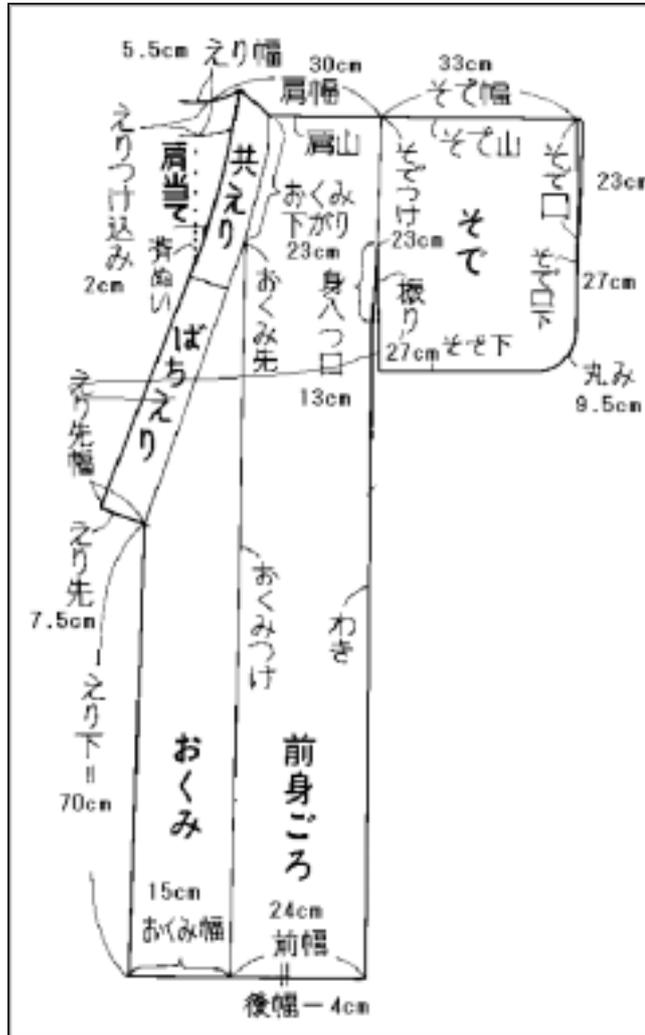
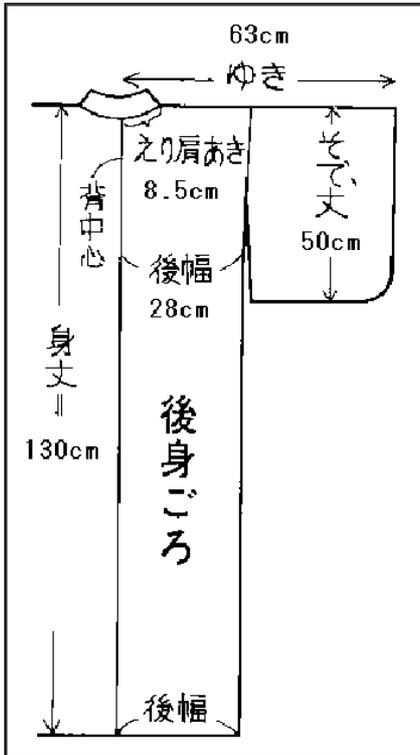
洋服地 110cm 幅 (身長+6cm)X2+110cm

身長160cmの方なら (160+6)X2+110=442cm 以上

付紐 1.5cm 幅 1.4m

型紙 75cmX105cm 2枚

手順1 着物の各部の名称と参考作品寸法



13cm=	3寸5分
130cm=	3尺4寸5分
15cm=	4寸
2cm=	5分
23cm=	6寸
24cm=	6寸5分
27cm=	7寸5分
28cm=	7寸5分
30cm=	8寸
33cm=	8寸5分
4cm=	1寸
5.5cm=	1寸5分
50cm=	1尺3寸5分
63cm=	16寸5分
7.5cm=	2寸
70cm=	1尺8寸5分
8.5cm=	2寸3分
9.5cm=	2寸5分

**注意!**  
この換算は 単純換算ではありません  
尺として標準的な寸法を 当てはめてあります

手順2 仕上がり寸法を 確認する

仕上がり着丈  
裁ち切り身丈(仕上がり着丈 + 2cm)

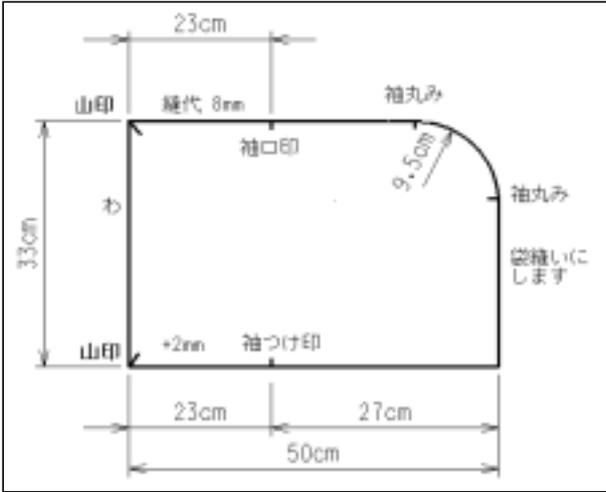
	cm	尺
袖丈	50cm=	1尺3寸5分
袖口	23cm=	6寸
袖つけ	23cm=	6寸
ゆき		
袖幅	(ゆき-2cm)/2	ただし 35cm以下)
肩幅	(ゆき-袖幅)	
後ろ幅	(胴回/4+7cm)	
前幅	(後ろ幅-4cm)	
衿幅	15cm=	4寸
襟肩開き	8.5cm=	2寸3分
繰りこし	2cm=	5分
付け込み	2cm=	5分
衿下がり 縦襟下がり	23cm=	6寸
身八つ口	13cm=	3寸5分
断ち切り襟下	70cm=	1尺8寸5分
撥衿幅 上	5.5	5.5cm= 1寸5分
撥衿幅 下	7.5	7.5cm= 2寸

衿付け流れ (測ります)  
衿付け流れ (測ります)

**注意!**  
尺への換算は 単純換算ではなく  
切のよい寸法にして覚えておきましょう

手順3 仕上がり寸法にあわせて 型紙を 作ります

袖の型紙 (参考寸法)



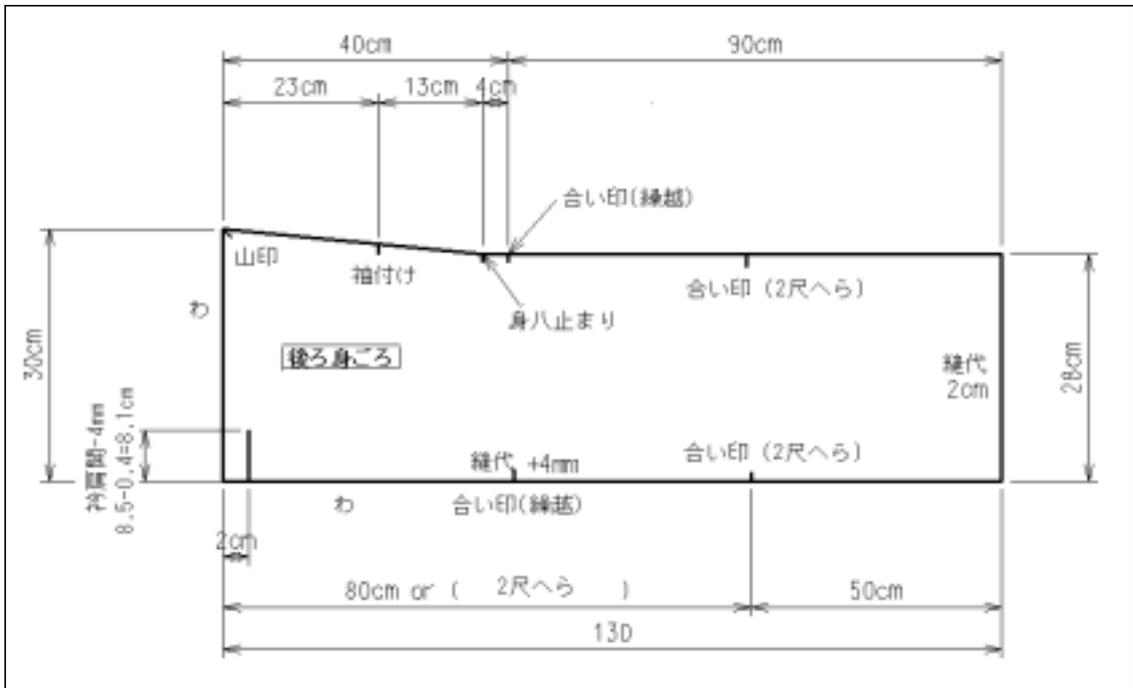
添え字を 書き込んでおきます

**注意!**  
袋縫いにするときは 縫代は 1.5cm以上取ります

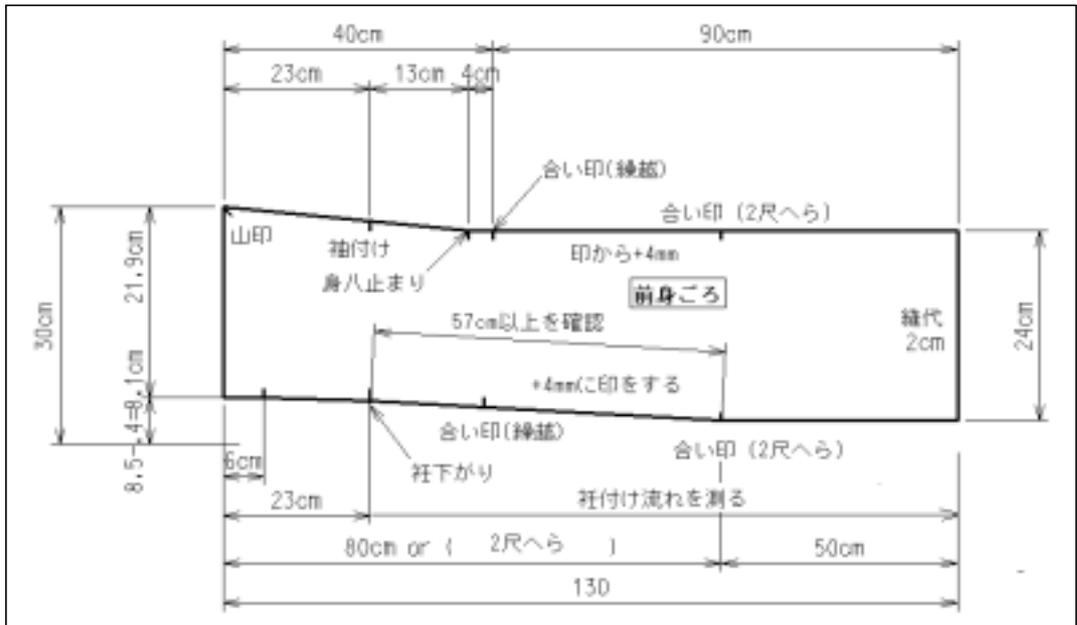
**用語!**  
**2尺へらとは?**  
着物のように 長いものに 印をする際の捨て印です  
通常は 2尺 と 1尺5分 の2箇所します  
最初の印は 繰越 の 位置に なります  
2尺の位置が大体 衿つけとまりぐらいいに なります  
これを cm に換算すると  
80cm と 40cm に 成ります

**用語!**  
**流れ?**  
着物はその殆どが 直線縫い で 作成されますが  
いくつか 斜めに縫う箇所があります  
その部分の 長さを "流れ" と呼びます  
斜めの長さなので 直線より長く かつ ゆるみを持たせる  
ことできれいな着物姿が 作りだされます

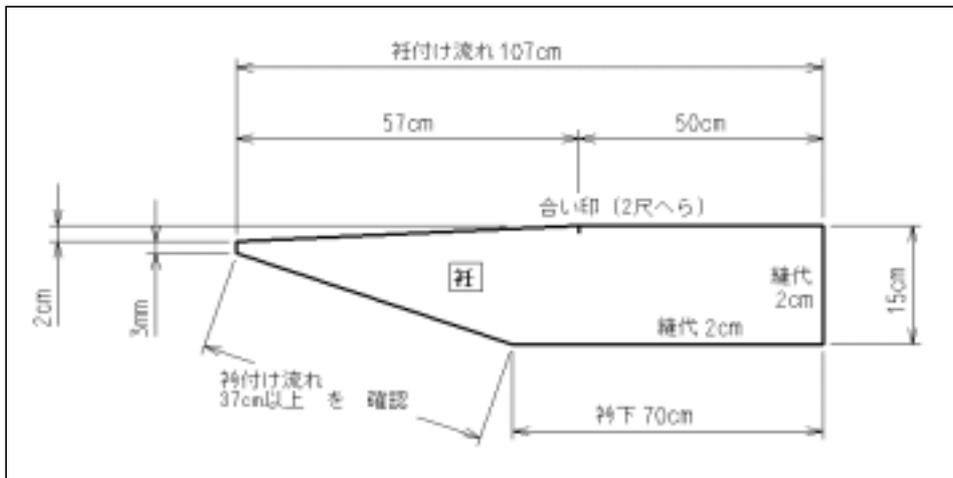
後ろ身ごろの型紙 (参考寸法)



前身ごろの型紙 (参考寸法)

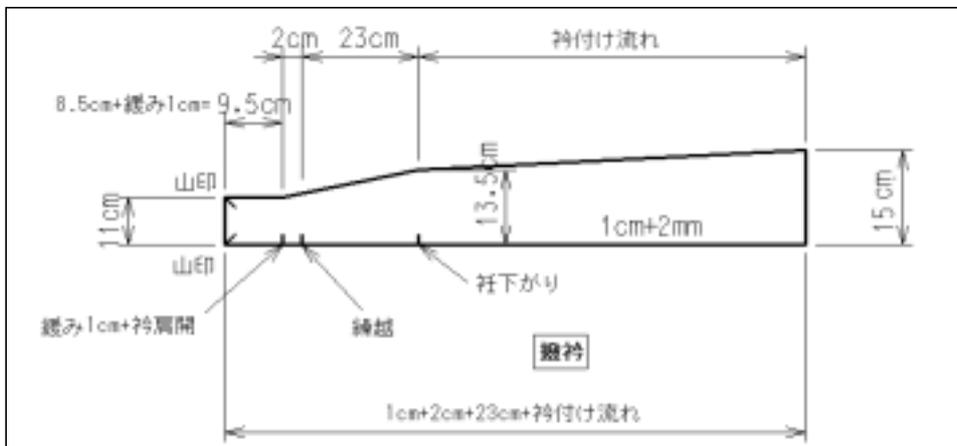


衿の型紙 (参考寸法)



**注意!**  
今回は 対丈の 浴衣なので 衿下の寸法と 2尺へらは だいぶずれます

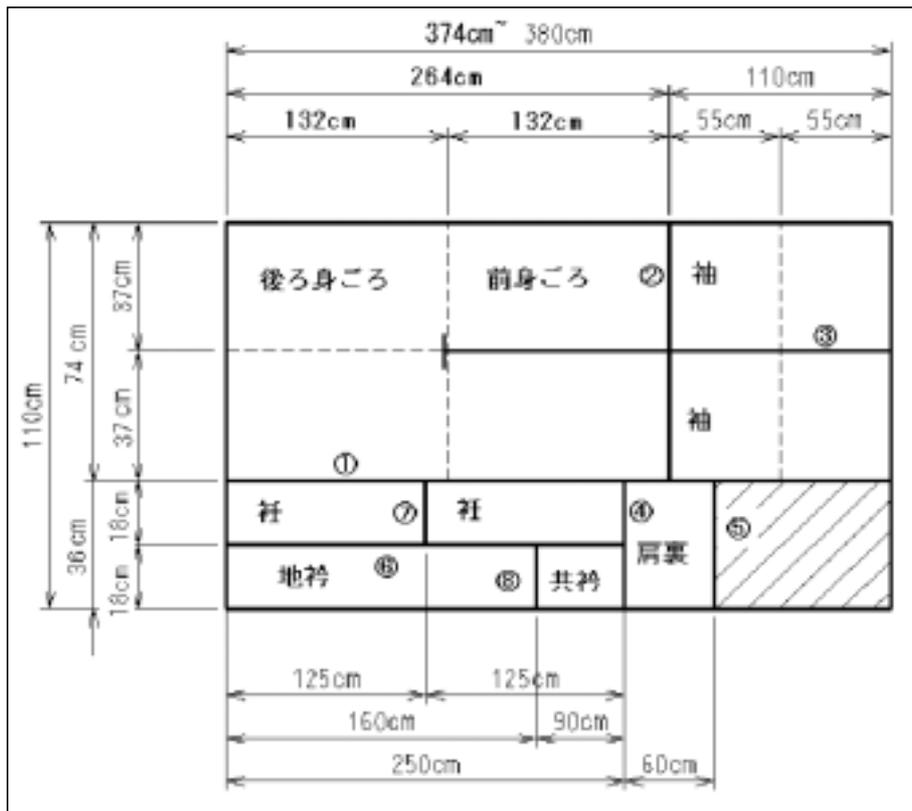
撥衿の型紙 (参考寸法)



**用語!**  
撥衿?  
パチエリ と読みます  
三味線の撥のように  
上と下の幅が ちがう衿の形です  
衿裏を 必要としないので  
関西で 好まれる仕立て方です

手順4 布の切り方と要尺(必要丈)の確認  
参考寸法の場合 です

で囲まれた数字が 布を切る順番です  
点線は "わ" に 成る 部分です



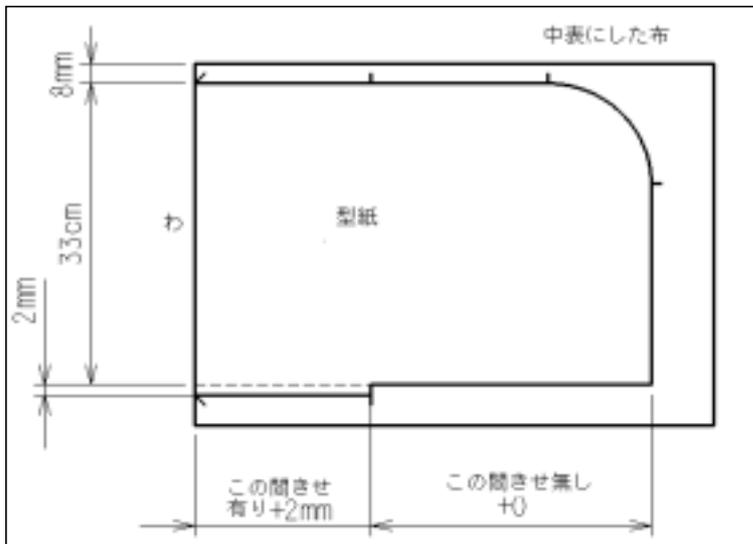
**注意!**  
裁ち目はかなり曲がって  
いることがあります  
そのときの為に 5cm 位  
長めに 購入しましょう

**手順5 を切ります**

出来るだけ 裂き切にします  
自信の無い場合 や 布幅が ぎりぎり の場合 は アイロン や こて を使ってしっかり 折りを つけて切ります

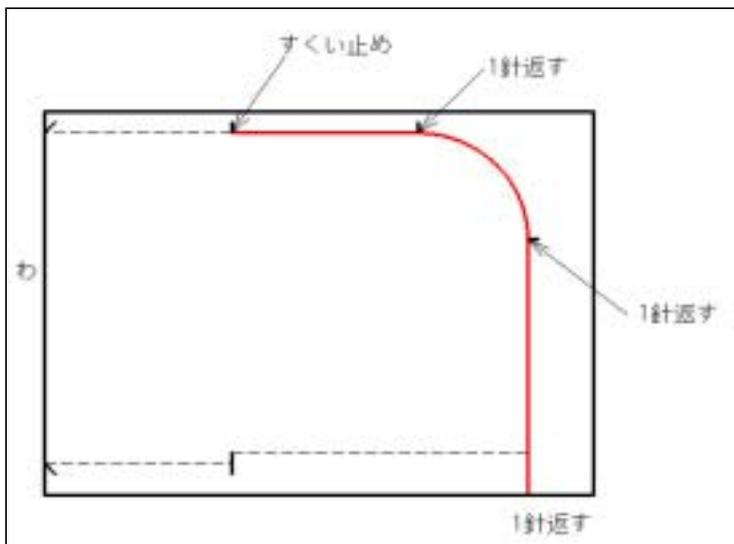
**手順6 袖の印をします**

- 6-1 布を中表にして型紙 を 上が 袖口 に なるように 載せますチャコとチャコペーパー を使って印をします
- 6-2 縫代を考慮して図のように 型紙を置きます
- 6-3 印は全て 縫代の側に 写し取ります



**手順7 袖を縫います**

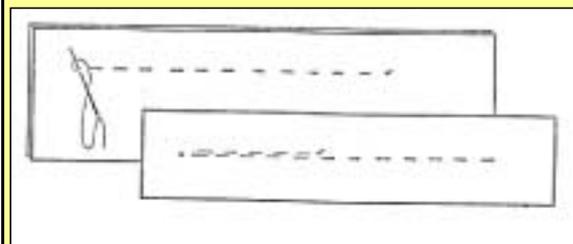
- 7-1 そで下を袋縫いします
- 7-2 外表にあわせ 5mmの縫代で 印 から 印 の間を ぐし縫いします
- 7-3 中表にして印の上を振り端から ぐし縫いします
- 7-4 丸みの 始めと終わりで 1針 返し針をしておきます
- 7-5 袖口はすくい止めにします



**用語!**

**すくい止め?**

縫い終わりの布を2,3本 すくい針に糸を  
1,3度絡めて引き締める  
重ね縫いで 2cm もどる



**7-6**

丸みの印の上を 2mm から 3mm の間隔で 縫います  
この時糸は 木綿の糸 20番か30番 の カタン糸または 木綿糸を一本で糸を切らずに縫います



- 7-7 2mmをきせを掛けて丸みを作ります きれいに タック を 取って アイロンか こてで 押さえておきます  
縫代が たくさんある場合は 糸で 止めておきます



- 7-8 同様に 袖下 袖底 に 2mmのきせを 掛けて毛抜き 合わせにして表に戻します



**用語!**

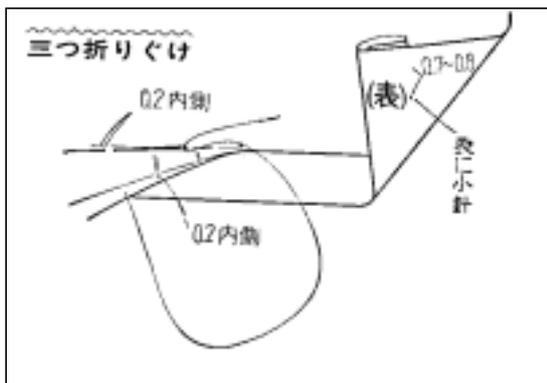
**きせ?**

縫代より 内側で 折りをつけて 縫い目を じかに 見せないように すること  
これを 多く取った仕立ては 狂いが出やすくぶくつき易くなる  
きせが無いと洋服のように カチッ とした感じで やわらかさが無くなる  
着物が着物らしく なる Point!

**毛抜き合わせ?**

縫代にきせを掛けて表に戻した状態  
縫代 を境に 左右が同じだけきせがかかったものが 美しい

- 7-9 袖口を 3つ折りぐけにします

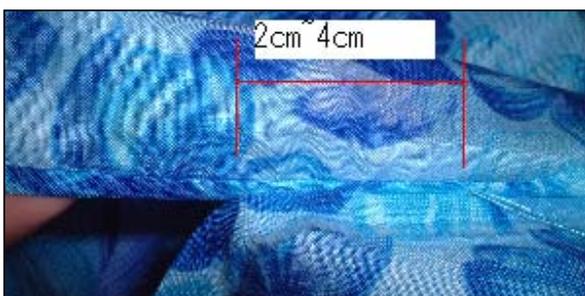


**用語!**

**3つ折りぐけ?**

3つ折りにした山から 表の糸2,3本を すくい又山へ戻る を 繰り返す  
この時 表と 山を 結ぶ 距離が 最小に なるように 練習する

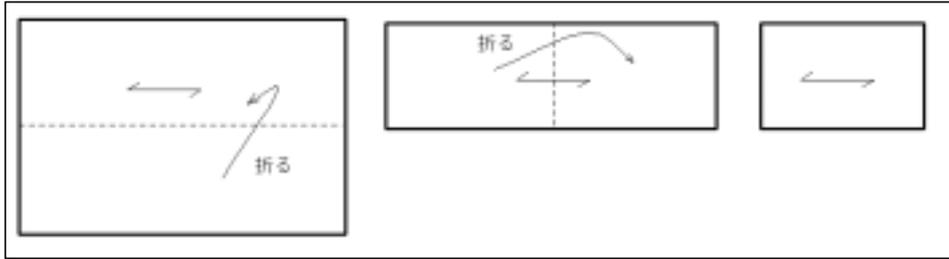
- 7-10 袖口下は 2cmから4cm奥まで くけます



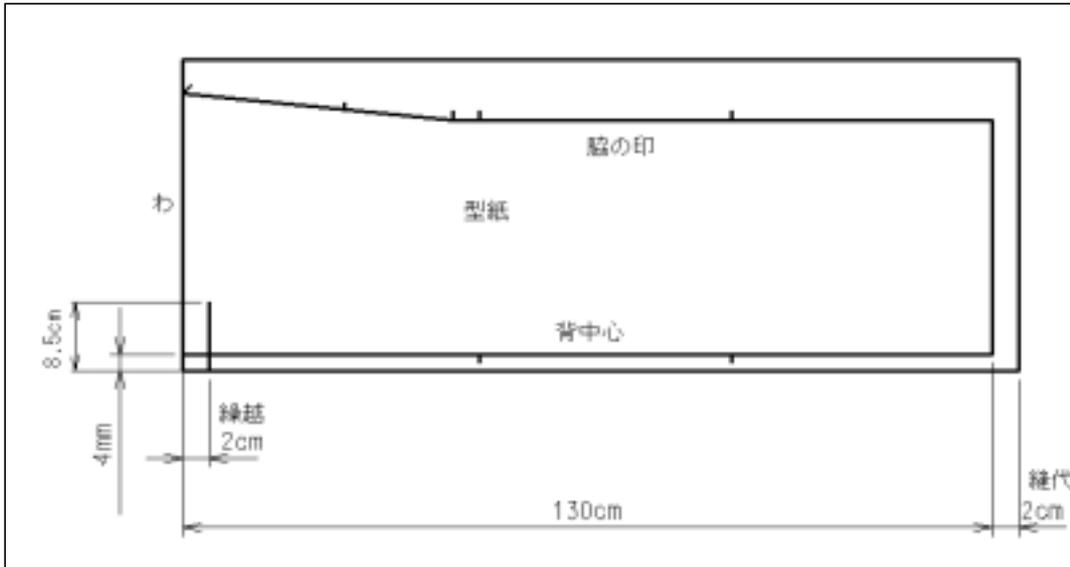
- 7-11 くけ終わった お袖は きれいに アイロンを かけてしわにならないように 保管しておきます

## 手順8 身ごろの印をします

- 8-1 身ごろの布を縦に中表に折ります  
さらに横に折ります

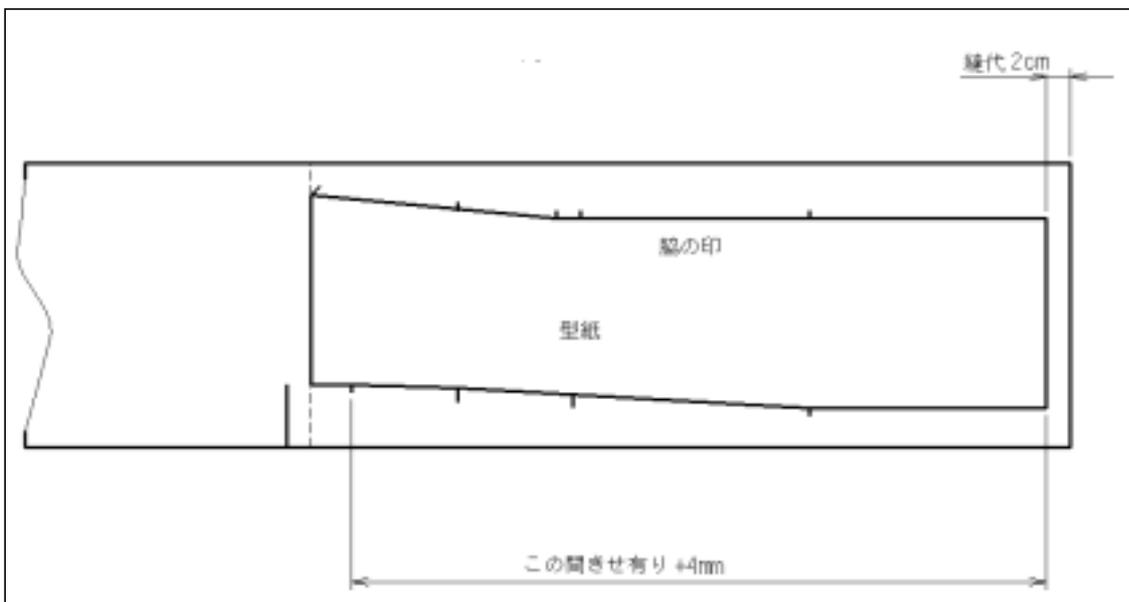


- 8-2 後ろ身ごろの型紙を 写し取ります  
裁ち切衿肩開きを 切ります



**用語!**  
線越?  
主として女物の着物の衣文を 後ろに ずらすこと

- 8-3 上の2枚を左側に広げます  
下の2枚にも 脇 の印を 確認します
- 8-4 前身ごろの型紙を 写し取ります  
脇の印を 合わせて 前身ごろの型紙 を 載せます



- 8-5 衿肩開きを 切る  
下の 2枚の わ を 切り開く

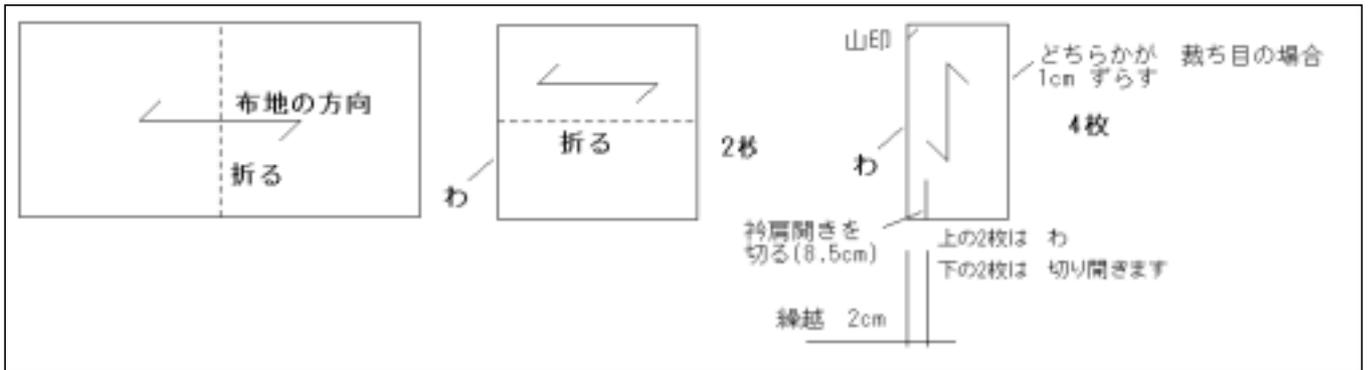
**手順 9** 肩裏を 作ります

9-1 を 切ります

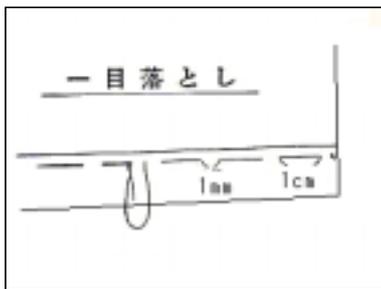
9-2 外表に 肩裏の布を たたみます

9-3 衿肩開きを 切る

9-4 下の 2枚の わ を 切り開く

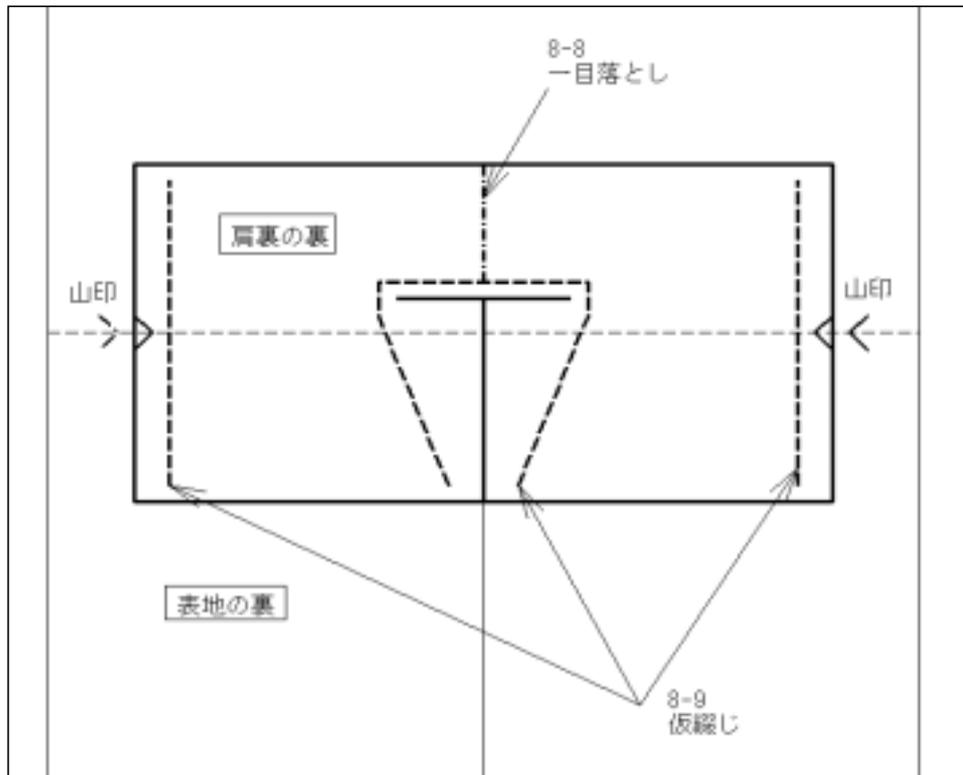


9-5 肩裏の上下の裁ち目を1cm表側に折って一目落として押さえる



9-6 背の部分は一目落としで表に綴じる

9-7 身ごろの裏に 山印 と 衿肩開き を あわせて 肩裏を 載せしつけ糸 で 仮綴じ しておきます

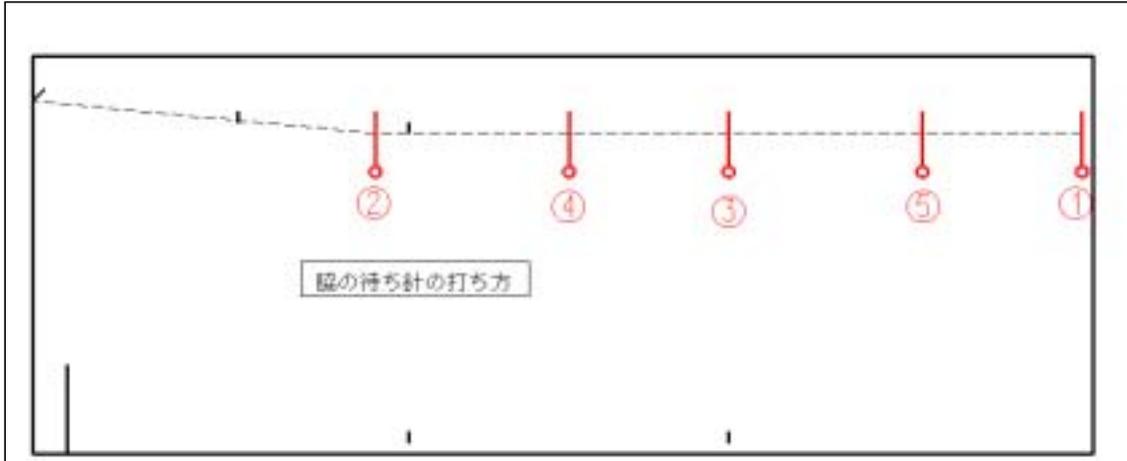


**手順 10** 身ごろの脇を縫います

10-1 裾の印をあわせ2枚の布を引っ張らないようにあわせ ます

10-2 身八つ止まりの印をあわせます

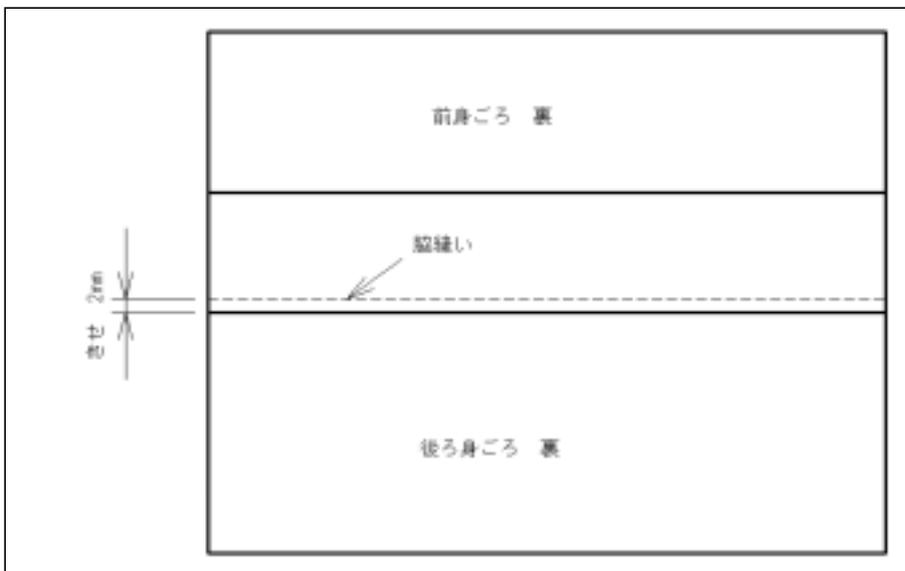
10-3 布をピンと張って中心からあわせていきます



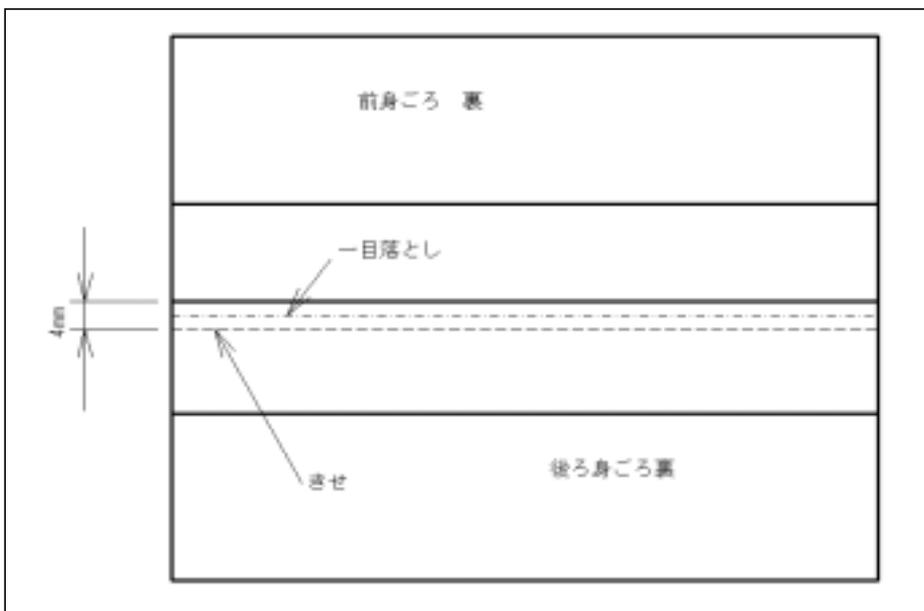
10-4 裾は3目ほど半返し縫いをしたあと くし縫いでぬいます

10-5 身八つ止まりまで縫ったら すくい止めで 止めます

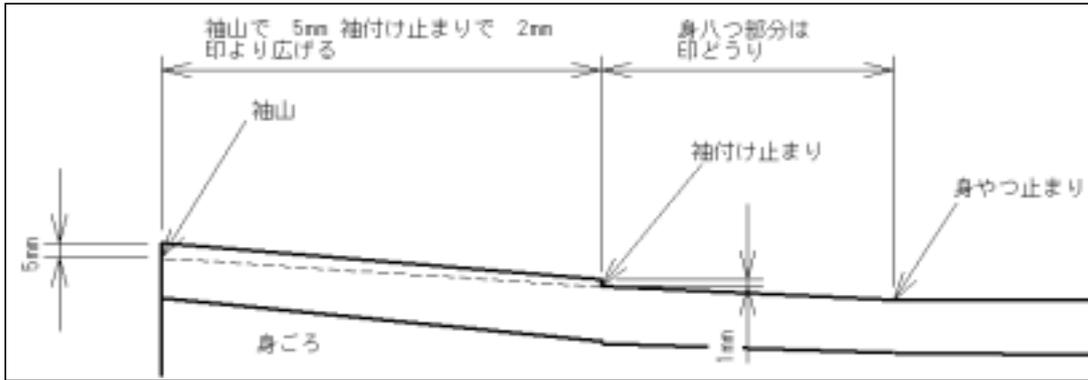
10-6 縫代は きせを かけて 前身ごろ側に 倒します



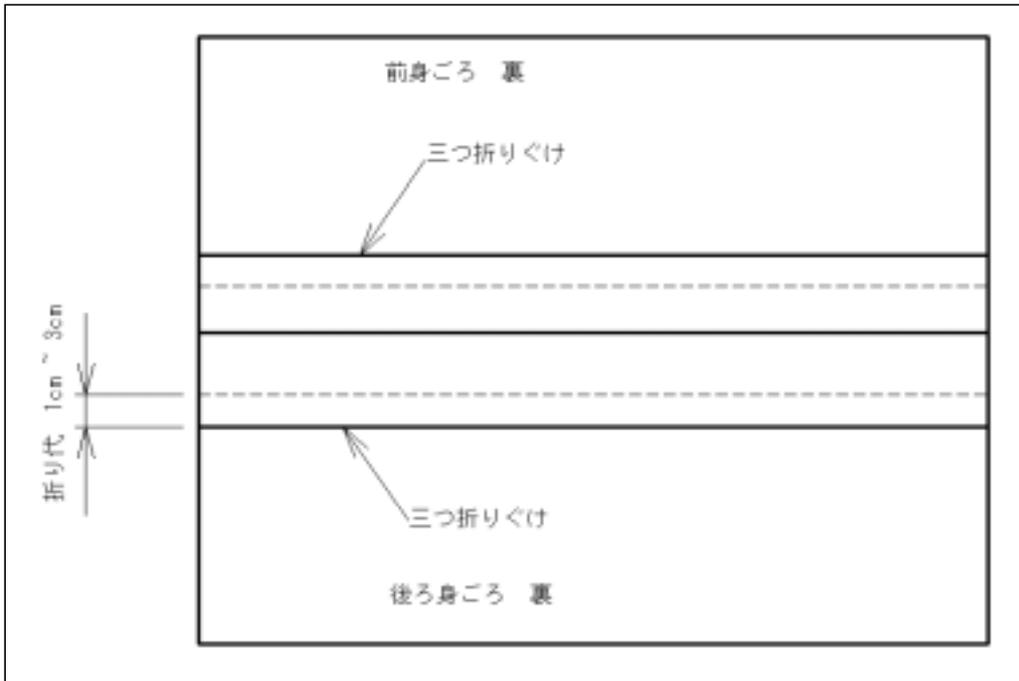
10-7 4mm重ね合わせ縫代を開き一目落として綴じます



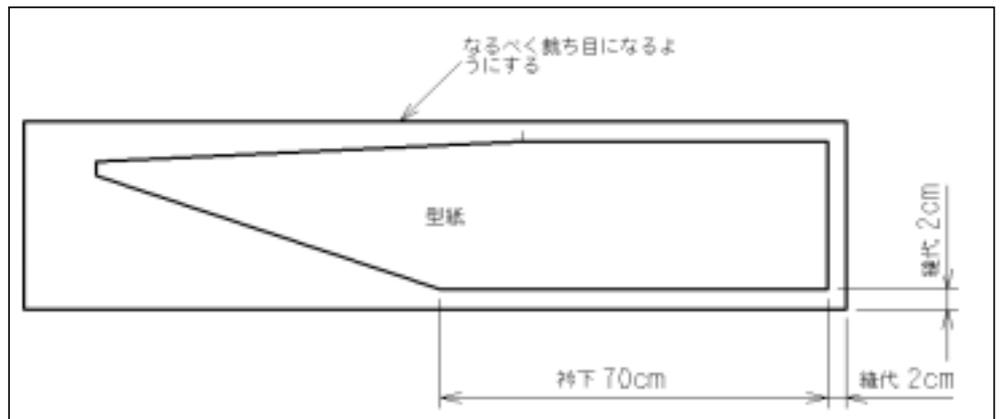
10-8 身八つ口部分 は 印 どうり 袖山は 5mm 袖付けとまりは 1mm 印 より広げておきます



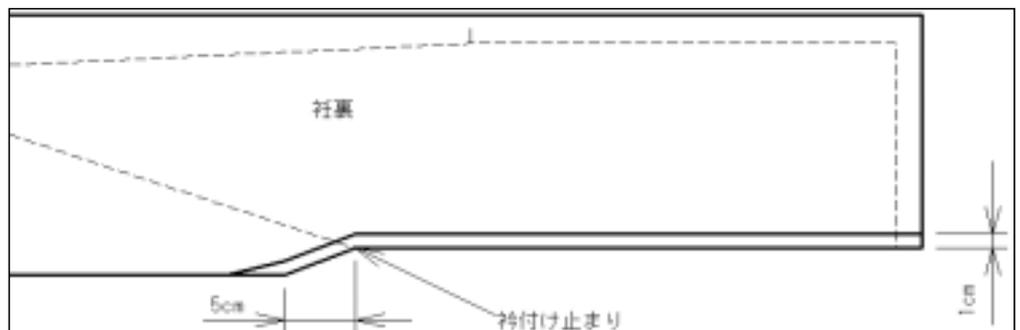
10-9 布端のしまつは三つ折りぐけを します



- 手順 11 衿を作ります
- 11-1 を切ります
- 11-2 衿の印を します



11-3 衿下を 印より5cm上まで三つ折りぐけ に します

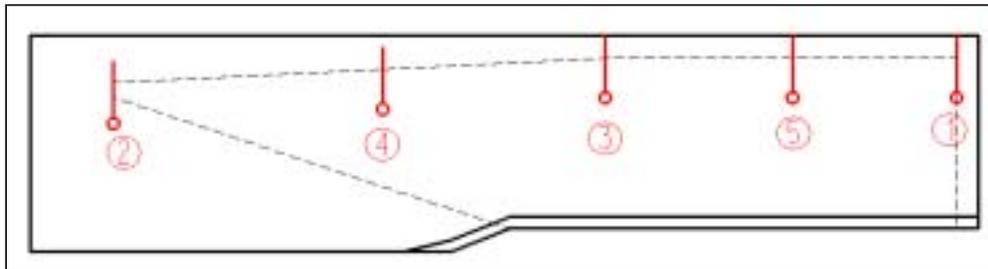


手順 12 身ごろにつけます

12-1 裾の印をあわせ2枚の布を引っ張らないようにあわせ ます

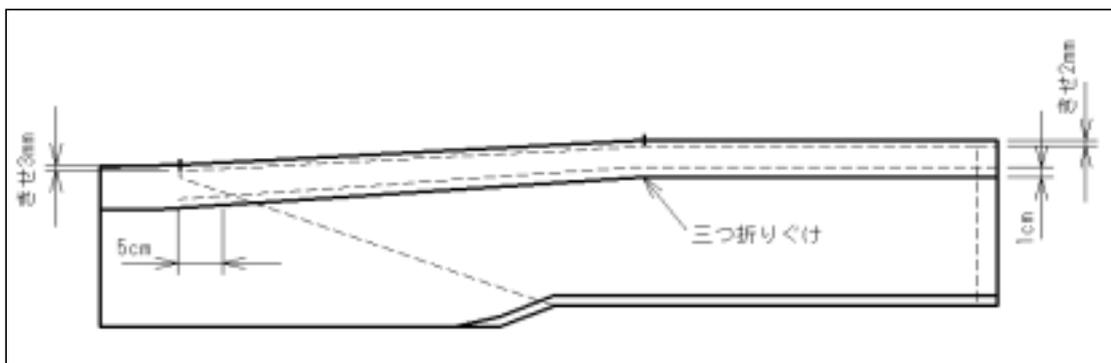
12-2 衽下がり印をあわせます

12-3 布をピンと張って中心からあわせていきます



12-4 縫代は 前身ごろ側に 2mmのきせをかけて 倒します

12-5 縫代を 衽の 印と 交わる 所から 5cm 上まで 1cm の 三つ折りぐけ に します

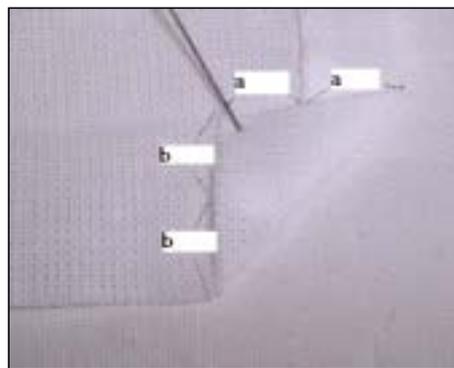
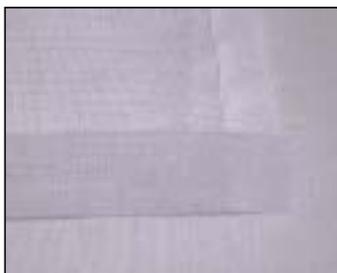


手順 13 裾を 1cm の 三つ折りぐけ に します

13-1 額の折り方

仕上がり で 折をつけます

角を折ります

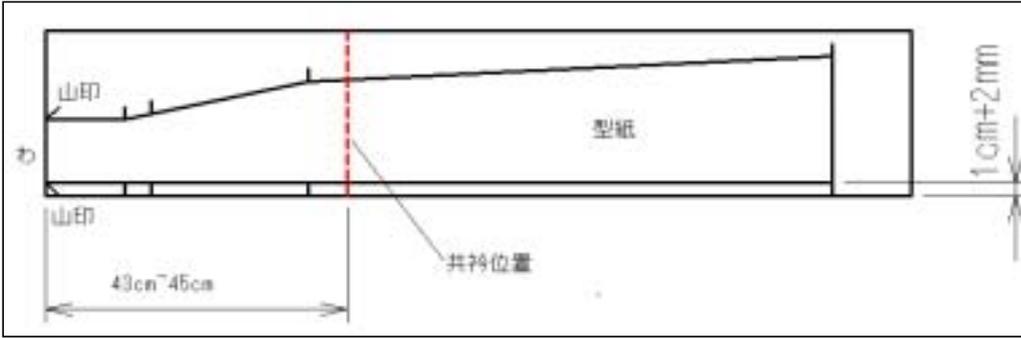


b を 折ります

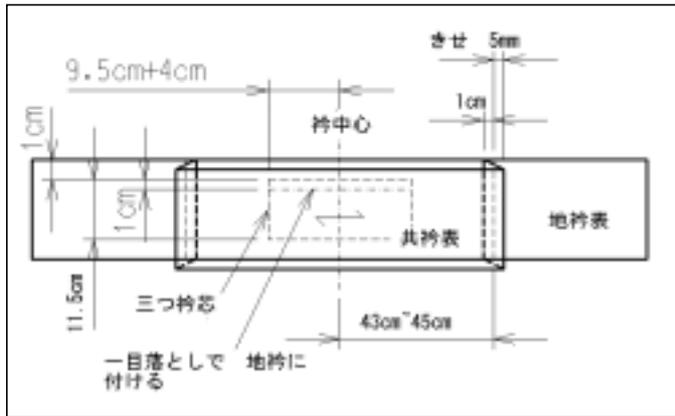
仕上げ線で 折ります



- 手順 14** を切り衿の印を します  
 14-1 衿の印をします  
 14-2 共衿/2-2cm のところが 共衿位置に なります

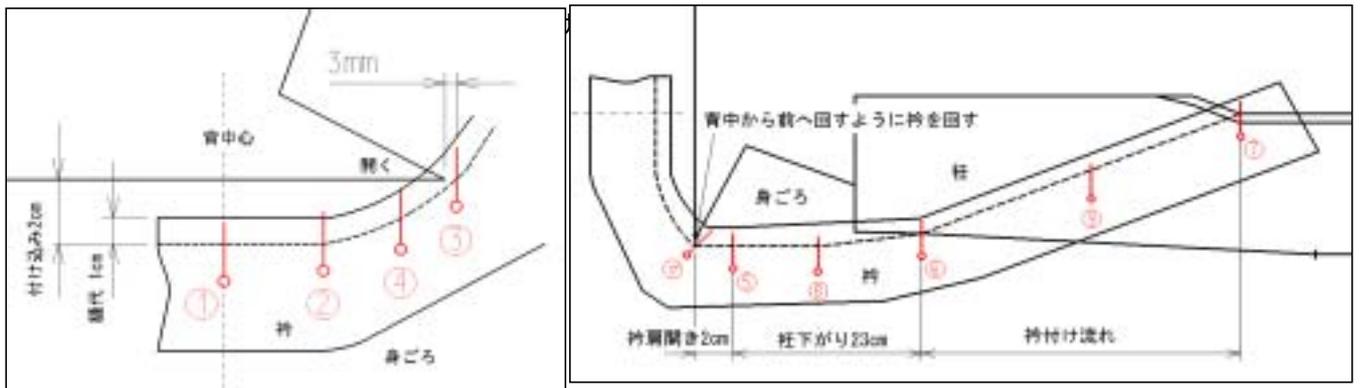


- 14-2** 共衿と 三つ衿芯を 地衿に 綴じます  
 つけ終わったら ずれないように しつけで 止めておきます

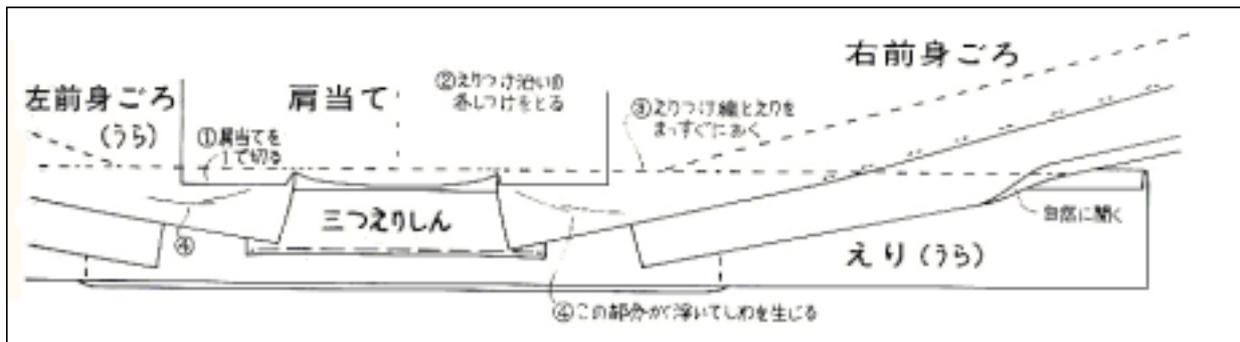


**用語！**  
**三つ衿芯？**  
 衿肩の間に入れる別布の のこと  
 この部分が 衿のほかの部分より 布が 薄くなるので入れます  
 (衿肩開き+4cm)X2=27cm の 晒し か 新モス を 用意します 共布の あまりが あれば それでも OK

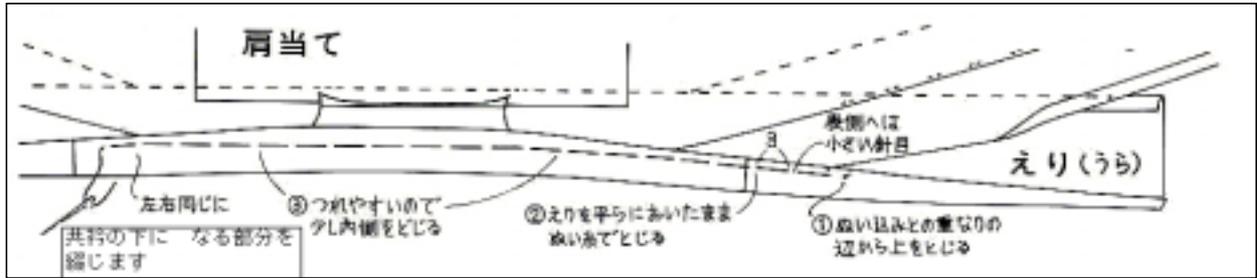
- 手順 15** 衿を身ごろ付けます  
 15-1 背中心から 待ち針を打ちます  
 15-2 衿肩開きは 開きながら 待ち針を打ちます



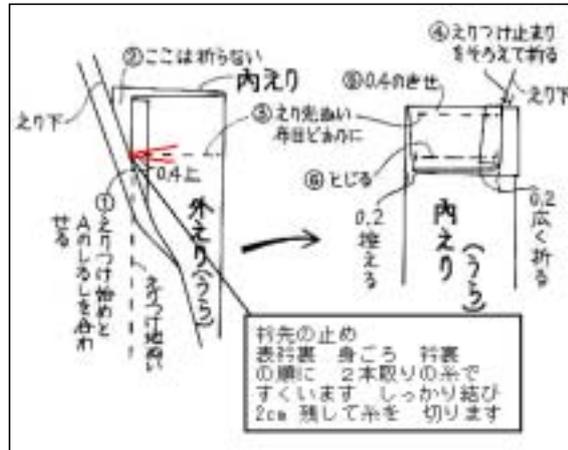
- 15-4** 身ごろに つけ終わったら 平らなところで衿を 印どおりに折ります



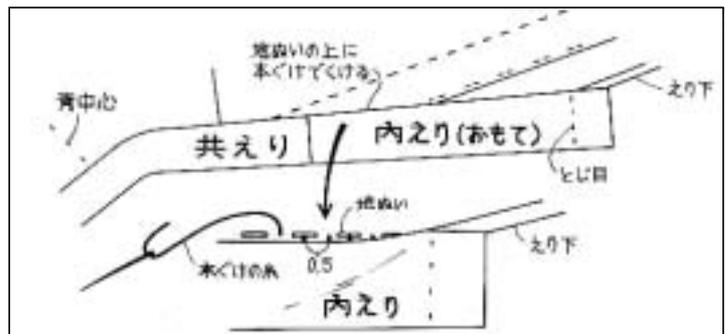
15-5 折りを縫じておきます



15-5 衿先の始末

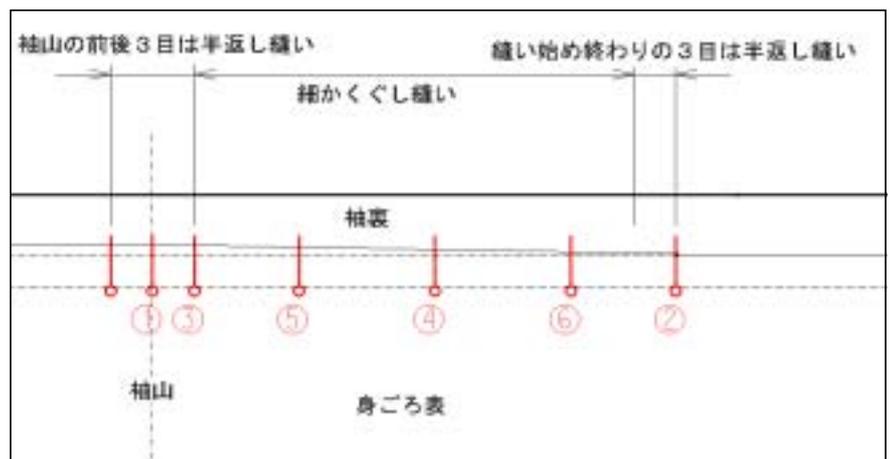


15-6 衿を本ぐけ で 縫じて 衿つけの完了です



手順 16

- 袖をつけます
- 16-1 袖の裏から待ち針を打ちます
- 16-2 袖付けの止めをします
- 止めは 袖裏から 身ごろをすくい
- 袖裏に 戻って
- 硬く 結んでおきます
- 2cm 残して 糸を 切っておきます

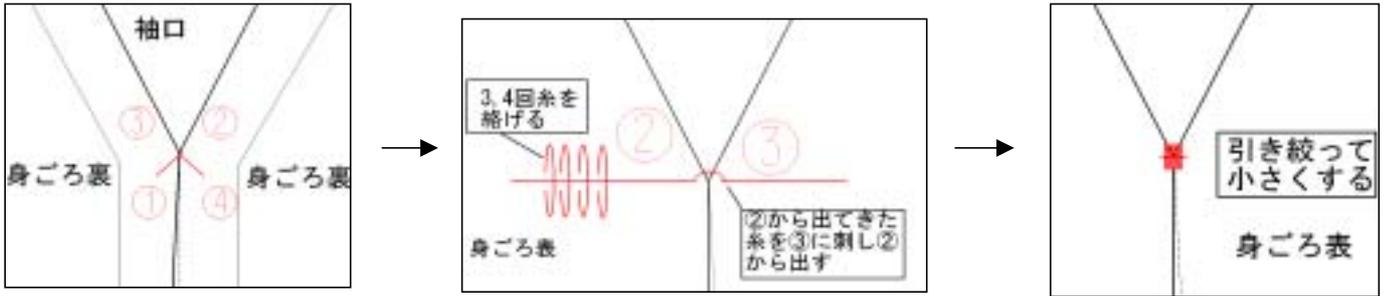


- 16-3 2mm きせを かけて 袖側に 縫代を 倒します
- 16-4 縫代は 1cm の折ぐけ に します



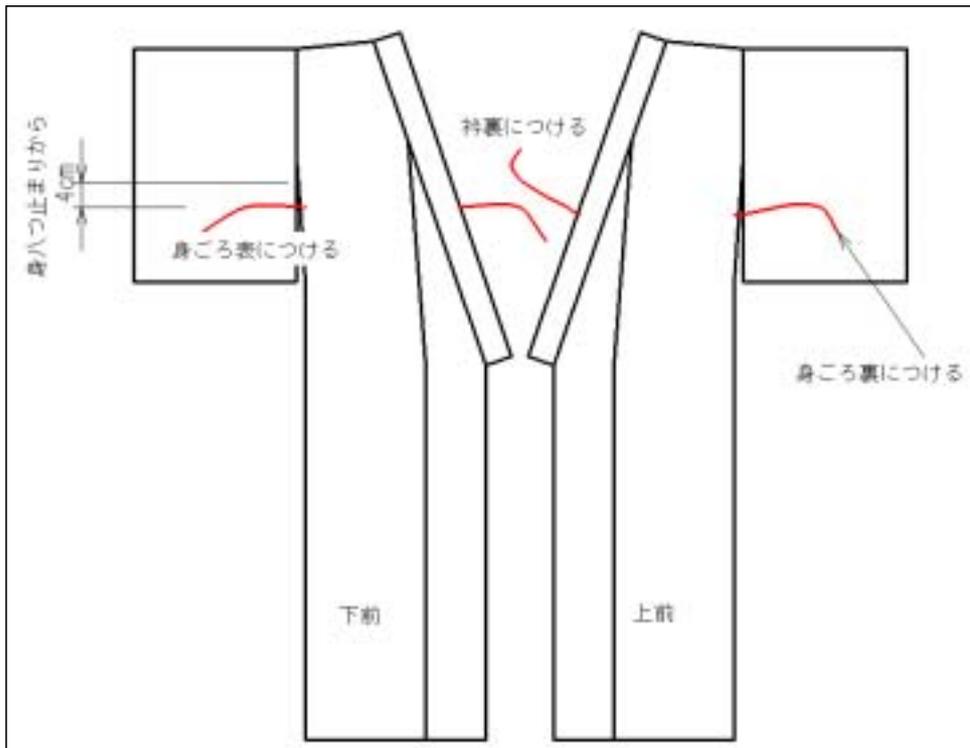
**注意!**  
折りぐけは必ず袖山から始め袖山で終わる

**手順 16** 閉止めをする  
 16-1 閉止め(虫止め) の 手順  
 身ごろの裏 から へ 針を出し 身ごろの表側に 閉止めを 作ります

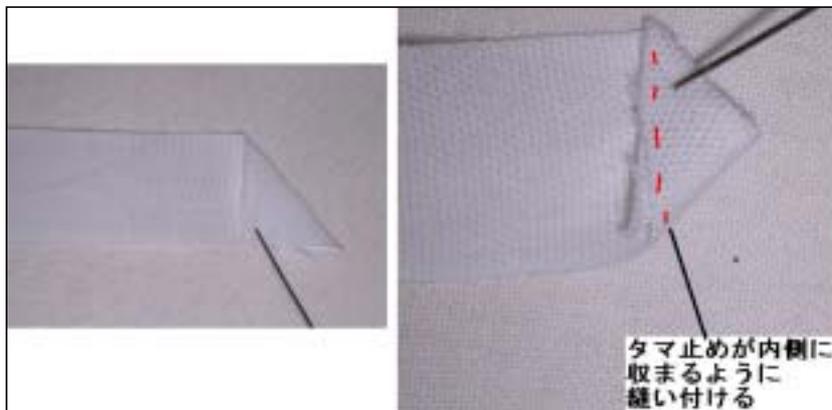


16-2 袖つけ止まり 4個所 と 身八つ止まり 2個所に 止めを する

**手順 17** 付紐を つけます  
 17-1 紐付け位置



17-2 紐の端始末



Point!  
 紐の"わ"は 男物は 上  
 女物は 下になるようにしてね  
 これは 大人 子供 共通です

**手順 18** 寸法を確認して アイロン仕上げを して 完成です  
 Check Point  
 1 身丈  
 2. ゆき  
 3 袖丈(左右が 同様に出来ているかもCheckしましょう)  
 4 閉止め  
 5 紐付け位置